

有田市立病院だより

Vol. 8

平成 25 年 8 月号



◆有田市立病院の理念◆

良質な医療を行い、地域医療に貢献し、利用者から信頼される病院を目指す。

◆基本方針◆

—理念を現実化させるための私達の姿勢—

- 1 患者様の視点に立った医療を行います。
- 2 安全で確実な医療を重視しています。
- 3 医療サービスを重視し、患者様に十分な 情報を提供します。
- 4 他施設との連携を密にし、効率的な医療を行います。
- 5 住民の皆様から喜んでいただくことに働きがいを感じます。

有田市立病院

〒649-0316 有田市宮崎町6番地

TEL.0737-82-2151 (代)

FAX.0737-82-5154

発行：有田市立病院 情報管理・広報委員会

当広報誌へのご意見・ご感想お待ちしております。

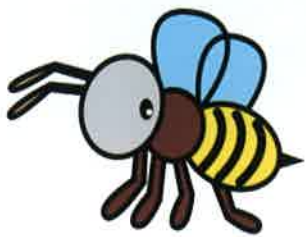
夏に多い虫刺されとその予防

皮膚科医長 吉益隆

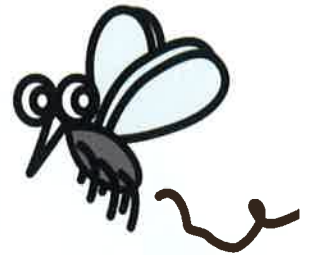
虫刺症は、蚊、ブユ（ブヨ）、アブ、ハチ、アオバアリガタハネカクシなどの昆虫に刺咬されて生じる皮膚炎です。また、昆虫以外にもムカデ、マダニに咬まれ受診される患者さんが毎年5月以降急増します。

通常の虫刺症は、顔面や頸部、四肢など、露出部に痒みを伴った1cm未満の小さな赤みが、数個から多数出現します。治療として、痒みを抑えるためのステロイドの外用を1-2週間外用します。難治性の場合は、痒み止めの飲み薬も併用します。ムカデ咬症の場合は痛みを伴いますので、鎮痛薬も併用します。

虫刺症の中でも、問題になるのがハチやマダニによるものです。ハチに刺されても、局所の痛みだけのことが多いですが、時に、血圧の低下、全身のじんましん、呼吸困難などのショック症状が出現することもあります。そのような場合、すぐに医療機関を受診し、適切な治療をうけないと死に至るケースもあります。



また、最近ではマダニに咬まれた後、死亡した症例が日本でも11例ほど報告されております（平成25年7月現在）。これは、SFTSウイルスに感染しているマダニに咬まれた後、重症熱性血小板減少症候群という病気が発症するためです。6日から2週間の潜伏期を経て、発熱や血小板の減少、胃腸症状などの全身症状が生じるため、マダニに咬まれた後も2週間ぐらいいは注意深く経過観察することが必要になります。対策としては、屋外で活動をする人は長袖、長ズボンを着用し、帰宅後は入浴して体を洗うことが第一の予防策です。そして、何か気になることがあれば、小さなことでも皮膚科受診するようにして下さい。



ストップ風疹 ～赤ちゃんを守れ～

今年の風疹の患者数は、すでに昨年1年間を大幅に上回っています。風疹は、母親が妊娠中に風疹に感染したことで生まれてくる子供に目や耳に障害が出る「先天性風疹症候群」の恐れがあります。風疹の感染拡大を食い止め、企業や医療関係者、マスコミなどさまざまな分野が連携し、それぞれのノウハウで風疹に対する正しい知識や予防接種の必要性などの啓発活動を進めています。

当院でも医療安全のため、風疹などの感染症の拡大予防に取り組んでいます。

- 手洗いの徹底
- せき症状のある患者さんへのマスク着用をお願い
- 発熱や発しんのある患者さんを別の待合室へご案内

確実な予防法はワクチンの接種です。※当院でも風疹のワクチン接種は可能です。

妊娠を希望する女性、妊婦の夫など家族、職場の人はワクチンを!!



熱中症に対する予防

内科医長 近藤環

箕島高校 29 年ぶりの夏の甲子園出場おめでとうございます。応援にも熱が入ると思われますが、炎天下はもちろん曇っていても湿度が高いと熱中症になる可能性は高いです。

熱中症とは

室温・気温が高い中での作業や運動により、体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、だるい、ひどいときはけいれんや意識の異常など、様々な症状をおこす病気です。



応急手当 あなたの周りで誰かが熱中症でたおれたら？

- ① 涼しいところに移動し安静に寝かせる
- ② 衣服を緩めて脇の下・太もものつけねなど冷やす
- ③ こまめに水分・スポーツドリンクなどを自分で飲んでもらう

自分で飲めない・呼びかけても返事がない場合はためらわずに救急車を呼びましょう。救急車が来るまでにできることを周りの人と協力して行ってください。



糖尿病ひろば～第4回～

今回は糖尿病治療の3本柱の一つ、運動療法のお話です。そもそも、糖尿病になるとなぜ運動をしなければいけないのでしょうか？

それは、食べ過ぎやバランスの悪い食事に加えて、運動不足も糖尿病を悪化させるきっかけになるからです。

運動不足になると、ブドウ糖をエネルギーとして消費する筋肉の量が減ってきます。また、インスリンの働きをじゃまする脂肪が増えて、ブドウ糖が利用されにくくなってきます。このように、運動不足は血糖コントロールを乱す大きな要因です。

一方、適度な運動をすると血糖値が下がるだけでなく、糖尿病のさまざまな症状が改善され、さらには、動脈硬化の予防、老化防止といった点でも効果があることが実証されています。

次回の運動療法の回では『効果的な運動の種目』についてご紹介していきます。

糖尿病患者様の運動療法の感想

体調がよくなった	61.1%
動くことが苦にならなくなった	57.9%
足腰が強くなった	48.4%
血糖が落ちついている	41.1%
体重が減った	35.8%
食事がおいしくなった	31.6%
生活に張りがでてきた	21.1%
その他	6.4%

太田西ノ内病院糖尿病センター調査引用



有田市立病院 第1回 市民公開講座 病気のことをもっと知ろう

■日時

平成25年 9月 26日 (木)

開場：19時 開演19時30分

■場所

有田市文化福祉センター
3階 会議室

病気が流行しているのだけれど、どうやって感染予防すればいいの？そんな不安にお答えするため、身近に流行する病気の症状や感染対策について有田市立病院専門スタッフがお話しいたします。



■講演内容 (19時30分～20時30分)

感染対策って何すればいいの？

～流行り病（インフルエンザ・結核・風しん・ノ）を防ごう～

医療安全対策室 看護師長(感染管理認定看護師) 森一美

感染予防品の
体験/配布
(先着100名様)



感染対策できているか
チェックしよう♪
手洗いチェッカーによる洗い残り測定
(19時～)